やいた応援
かわら版

第２１号
令和元年１２月１日
編集/やいた応援かわら版編集委員会
発行/矢板市秘書広報課
電　話：0287-43-3764
ファクス：0287-43-2292
Eメール：yaita@city.yaita.tochigi.jp

公園を守る熱い思い！

五区公園運営委員会

市内にはたくさんの公園がありますが、子どもを連れて遊びに行くなど皆さんも一度は行ったことがありますよね。

そんな地域の方たちが集う公園を自主的に整備している五区公園運営委員会代表の海瀬元之さんに公園を守ることへの思いなどを聞いてきました。

●設立の経緯

今から二〇年前、自宅近くの「ひまわり公園」は背丈ほどのススキが藪を作り、生け垣も伸び放題でした。とても公園には見えない状態でしたので、独りで草刈りなどの手入れを始めました。その作業を見ていた五区の方たちから「一緒になって、他の公園の整備もしましょう」と声をかけていただいたことがきっかけで、平成二三年四月に運営委員会を立ち上げました。

その後、毎月会議を開催し、公園の整備のことや、コミュニティ活動などについて話し合ってきました。今年の九月で会議は一〇〇回を迎えました。

●活動内容は

現在、五区には七つの公園があり、除草や木の剪定、遊具のペンキ塗りなどを行っています。会員は二一人で、公園ごとに担当分けをして活動しています。

さらに、春と秋には公園周辺の住民の協力を得て除草や剪定を行なっています。子どもたちが遊ぶ公園なので、除草剤を一切使用せず、機械と手作業で行っています。機械を使うと砂が飛び危険だとの意見があったので、四カ所の公園に芝生を張りました。

●活動の成果は

一番に言えることは、ゴミのポイ捨てが減ったことです。他には、生け垣の高さを半分にしたことで、公園内の見通しが良くなりました。過去には、公園内で倒れていた高齢者の方をいち早く見つけることができ、大事には至りませんでした。

公園は子どもたちの遊び場としてだけではなく、高齢者の憩いの場でもあるので、常にきれいにしたいと思っています。

●公園を使った活動は

大切なコミュニティ活動として、平成二五年の八月からは、五区の夏祭りを毎年開催しています。三年前からは矢板中央高校の生徒会にも手伝ってもらっています。

この活動がきっかけで、五区の方たちのつながりが強くなってきたと思います。

●今後の目標

私たちが行っている活動が、市内の他の地域にも広がってくれたらいいなと思っています。その活動によって市内のすべての公園が、どこの市町村にも負けないきれいな公園になったらうれしく思います。

（記者の感想）

公園をきれいにするには何から始めたら良いですか？の問いに、取材に参加いただいた全員の方から「できることから始めればいいんだよ」と声を揃えて答えていただきました。難しいことは何もなく、注意深く観ているとやれることがたくさん見つかるそうです。

熱い思いを持った方たちが周りの人も巻き込んで活動しているからこそ、この活動は長く続いているのでしょうね。

（Ｙ．Ｓ）